

決算特別委員会 会議録

開 会 日	平成 28 年 9 月 9 日（金）			午前 10 時 00 分～午後 5 時 58 分		
閉 会 日	平成 28 年 9 月 12 日（月）			午前 10 時 00 分～午後 5 時 26 分		
場 所	長久手市役所西庁舎 2階 第7・8会議室					
出席委員	委員 長 木村さゆり 副委員長 山田けんたろう 委 員 青山直道 上田 大 加藤和男 じんの和子 なかじま和代 林みすず					
欠席委員	なし					
欠 員	なし					
会議事件のため出席した者の職氏名	市長	吉田一平	副市長	鈴木孝美		
	総務部長	布川一重	次長兼財政課長	青山 均		
	調整監	浅井雅代				
	税務課長	福岡智浩	課長補佐	近藤泰介		
	市民税係長	神藤貴司	資産税係長	木全麻規子		
	収納課長	高木昭信	課長補佐	山本郁子		
	行政課長	飯島 淳	課長補佐	粕谷庸介		
	庶務係長	榊本芳樹				
	財政課課長補佐（財政担当） 嵯峨 剛					
	課長補佐（管財担当） 水草 純					
	市民課長	斉場三枝	市民係長	村瀬裕圭		
	市民相談室長	加藤登美子	市民相談係長	浅井紳一郎		
	くらし文化部長	高嶋隆明	次長兼	加藤正純		
	たつせがある課長 川本満男					
	課長補佐（地域協働担当） 遠藤健一					
	課長補佐（交流推進・商工観光担当） 正林正己					
	地域協働係長	山崎暢之	交流推進係長	伊藤雅絵		
	商工観光係長	熊谷美恵				
	安心安全課長	水野徳泰	課長補佐	山際裕行		
	防災官	栗寄穂積				
	環境課長	福岡隆也	主幹	水野正志		
	課長補佐	嵯峨寛子	ごみ減量推進係長	山田克仁		
	生涯学習課長	横地賢一	主幹	山田直樹		

課長補佐（生涯学習担当）	若杉雅弥		
課長補佐（スポーツ担当）	大井あずみ		
生涯学習係長	森 健一		
文化の家事務局長	靄山勝人	局長補佐	山本一裕
管理係長	白木敏雄	事業係長	生田 創
教育部長	加藤 明	次長兼教育総務課長	川本晋司
主幹	川本 忠	指導室長	滝 義昌
課長補佐	水野真樹	義務教育係長	諸戸洋子
給食センター所長	富田俊晴	給食係長	加藤紀子
中央図書館長	高崎祥一郎	主幹	二之部香奈子
会計管理者	水野 悟	会計課長	加藤 哲
会計係長	吉田菜穂子		
監査委員事務局長	水野 泰	監査係長	池田泰久
専門員	山田伸恵		
消防長	吉田弘美	次長兼消防署長	加藤龍寿
総務課長	出口史朗	主幹	久保田直也
予防課長	青山伸二		
消防署主幹	梶田和男	消防第一課長	伊藤 薫
市長公室長	鈴木 裕	次長兼経営企画課長	中西直起
政策秘書課長	日比野裕行	課長補佐	若杉玲子
政策調整係長	平岡優一	秘書係長	伊藤友人
経営企画課長補佐	森 延光	経営係長	児玉 剛
人事課長	浦川 正	課長補佐	北川考志
情報課長	福岡弘恵	課長補佐	柴田浩善
福祉部長	山下幸信	次長兼福祉施策課長	成瀬 拓
調整監	野口眞弓		
福祉施策課課長補佐	山田美代子	福祉施策係長	堤 健二
福祉課長	浅井俊光	課長補佐	近藤かおり
保護係長	小田 豊	福祉係長	野田 聡
長寿課長	中野智夫	課長補佐	井上隆雄
いきいき長寿係長	伊藤 愁	地域支援係長	稲垣道生
子育て支援課長	山端剛史		
課長補佐（保育、子ども未来、施設担当）	門前 健		
課長補佐（子ども家庭担当）	岡藤彰彦		
子ども未来係長	西本 拓		
保険医療課長	矢野正彦	主幹	林 元美
国保年金係長	名久井洋一	医療係長	山田菜美
健康推進課長	水野敬久		
課長補佐（健康増進担当）	南谷 学		
課長補佐（母子保健担当）	遠藤佳子		

	母子保健係長 鈴木晶子 建設部長 浅井十三男 次長兼区画整理課長 加藤英之 開発調整監 松浦元彦 土木課長 矢野克明 課長補佐 丸山賢一 維持管理係長 閑谷乙温 工務係長 安井寛樹 都市計画課長 川本保則 課長補佐 吉田 学 建築係長 樋口展行 みどりの推進課長 磯村和慶 課長（平成こども塾担当） 伊藤正尚 主幹 成瀬 守 課長補佐 朝井雅之 緑化推進課係長 水野広道 区画整理課課長補佐 山本晃司 公園西駅開発推進室専門員 富田昌樹 専門員 栗山徳明 <p style="text-align: right;">計 122 名</p>
職務のため出席した者の職氏名	議長 伊藤祐司 議会事務局長 角谷俊卓 局長補佐 貝沼圭子
会議録	別紙のとおり

別紙

9月9日(金)

委員長 開会宣言
議長 あいさつ
市長 あいさつ

認定第1号

委員長 本委員会に付託された認定第1号平成27年度長久手市一般会計決算認定についてを議題とする。初めに決算の概要について説明を求める。

市長 決算の概要について説明

委員長 それでは、予め通知した順に決算の説明を求める。

税務課

税務課長 税務課の決算について説明

じんの委員 主要事業の成果50ページ(決算書18ページ) 法人市民税
納税義務者は前年度より45社増えたが、課税額は前年度比3.3パーセント減となったのは、法改正により法人税割が12.3パーセントから9.7パーセントに下がったためと説明があった。納税義務者は、資本金1億円超212社、その他1,114社とあるが、両者共税率は9.7パーセントか。

税務課長 法人税割は一律9.7パーセントである。

林 委員 主要事業の成果50ページ(決算書18ページ) 個人市民税
課税額の内、その他所得割額が減少した理由は何か。

市民税係長 株式譲渡所得、土地建物譲渡所得等が想定できるが、株式譲渡は年ごとに変動があり、個別の特徴は難しい。

林 委員 転入者は中間層が多く税収も拡大しているが、どの所得層が増えたか。

課長補佐 200から500万円の中程度が約40パーセントを占めている。

林 委員 200万円以下は何パーセントか。

税務課長 16.0パーセントである。

加藤委員 主要事業の成果52ページ 家屋課税事務

「実地調査に基づき評価額を算定・修正し」とあるが、航空写真も利用した現地確認するのか。

税務課長 航空写真、現況図を照らし合わせ、適正な課税に努めている。

加藤委員 増築家屋は建築確認申請が出されないとわからないのか。また、取壊し家屋も届出がないわからないということか。

税務課長 建築確認申請に基づいて対応している。
委員長 他になければ、税務課の質疑及び意見は以上で終了する。

収納課

収納課長 収納課の決算について説明
上田委員 決算書 121 ページ 愛知県豊田尾張東部滞納整理機構分担金 60 万円
滞納整理機構の設置は来年 3 月までの期限があるが、その後の予定はあるか。

収納課長 市町村から存続要望があり、県が今後の対応を検討している。市も存続を要望した。

林 委員 主要事業の成果 55 ページ（決算書 121 ページ） 愛知県豊田尾張東部滞納整理機構

機構への引継ぎ 95 件は、個人、法人別で何件あったか。

収納課長 確認して報告する。

※1（「法人は個人市民税特別徴収分2件、法人市民税1件。個人は共有名義を含む 92 件」と追加説明資料提出あり）

青山委員 主要事業の成果 53 ページ（決算書 19 ページ） 固定資産税
主要事業の成果 54 ページ（決算書 21 ページ） 都市計画税
未納件数が同じだが、該当者は全て市街化区域の人か。また、相続人がなく未納のケースがどれほどで、連絡はとれているか。

収納課長 固定資産税、都市計画税の滞納繰越分は、二つを分けずに案分立で計算するので、全体の係数として同数になっている。市街化区域外の人もいると思う。固定資産税の未納については、公示送達などで賦課徴収を進める案件もあるが、件数は確認して報告する。

※1「公示送達2件、相続人がなく課税保留5件」と追加説明資料提出あり

なかじま委員 主要事業の成果 55 ページ 納税普及・啓発事業
租税教室は北小学校、西小学校の 2 校で実施した理由は何か。

課長補佐 税務署が学校に希望を照会し、市、税理士、税務署に実施校を割振る。
その割振りにより北小、西小の 2 校を市が担当した。

じんの委員 主要事業の成果 55 ページ（決算書 121 ページ） コンビニエンスストアでの収納

コンビニ収納手数料（56 円/件＋消費税）は、金融機関に比べると高く、市の実収入が減る。クレジット収納による市のメリットは何か。

収納課長 クレジット収納が収納率に直結するとは思ってない。納期内納付を促進すること、いつでも納税手続きができ利便性が向上することが大きなメリットと理解している。

委員長 他になければ、収納課の質疑及び意見は以上で終了する。

行政課

行政課長 行政課の決算について説明

上田委員 主要事業の成果 39 ページ（決算書 93 ページ） 行政改革推進事業
行政改革推進委員会、行政改革推進本部の構成と平成 27 年度の議論はどのようだったか。

行政課長 行政改革推進委員は大学関係者 3 人、企業関係者 4 人、公募市民 3 人の 10 人で構成する。また、行政改革推進本部会議は、庁内の部長級を中心に構成する。行政評価票の内容、第 3 次行政改革大綱の振り返り、新しい行政改革指針は委託業務としたので、その内容を年度末に行政改革推進本部会議に報告した。

じんの委員 外部評価の目的は何か。事業評価は成果につなげることが責務である。そのためには市民に知ってもらうことが大切だが、傍聴者も少ない。たくさんの方の市民に参加してもらうための努力はしているか。

行政課長 行政評価は自己評価（内部評価）だけでは不十分なので、有識者、市民目線での評価（外部評価）をしている。自治会回覧や 4 日の内 1 日は日曜に開催するなど啓発や参加促進に務めた。

じんの委員 外部評価結果や意見は、次期予算に反映されるのか。

行政課長 内部評価、外部評価の意見は、新年度予算要求に反映することとしている。

林 委員 主要事業の成果 38 ページ（決算書 83 ページ） 平和事業

3 つの事業の総括と今年度の充実のにつながったことは何か。

行政課長 平成 28 年 5 月 31 日に平和事業推進委員会を設置した。8 月 11 日には推進委員会主催で「語り部による戦争体験を聞く集い」を実施した。行政と市民が役割を分担し、市民主体で進めていきたい。

山田委員 被爆二世樹木の植樹の計画はどのようか。

行政課長 平成 28 年度に北中学校、東小学校を予定している。中学校への植樹は北中学校の植樹で終了し、来年度以降は小学校だけになる。

青山委員 主要事業の成果 37 ページ（決算書 127 ページ） 明るい選挙啓発ポスター募集

高校生の応募は 1 点だけでそのまま入選とした。公職選挙法が改正され、18 歳選挙権となったが、この結果を見て次はどう進めるのか。

行政課長 市内の高校に協力依頼しているが、他の有権者への啓発とともに明るい選挙推進委員会で議論したい。

加藤委員 主要事業の成果 37 ページ（決算書 127 ページ～131） 長久手市議会議員一般選挙 長久手市長選挙

期日前投票は市役所西庁舎 1 か所でしたが、増やす計画はないか。

行政課長 具体的な計画はない。公職選挙法が改正され、多くの人が集まる駅の近くやスーパーなどで、できるようになったので研究したい。

委員長 他になければ、行政課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午前 11 時 27 分休憩

午前 11 時 35 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

財政課

財政課長 財政課の決算について説明

じんの委員 主要事業の成果 41 ページ 地方債借入・償還事務
市債発行に対する市の考えを聞きたい。

財政課長 公的資金の借入れができない、国の区分で民間資金に割り振られた事業は民間から借入れをしている。

じんの委員 民間金融機関からの借入時の条件設定はどのようなか。

財政課長 市内及び名古屋市名東区に事業所のある金融機関を対象に入札し、金利の最も低い金融機関を落札者としている。

林 委員 決算書 87 ページ 市役所植栽帯緑化工事 99 万 6,181 円 市役所等樹木維持管理工事 96 万 6,600 円 市役所内植栽工事 35 万 6,400 円
一体管理としたほうが経費削減ができるのではないか。

財政課長 市役所等樹木維持管理工事は駐車場内の樹木の剪定、植栽関係の工事は庁舎にハンギングバスケットの設置、敷地内の草花の植替えと工事内容が異なるので別工事とした。

青山委員 主要事業の成果 40 ページ (決算書 53 ページ 87 ページ) ふるさと寄附金事業

ふるさと納税 7 件、14 万円に対し、返礼品、広告料で 14 万 6,000 円支出した。ふるさと納税を今後どうしたいと考えているか。

財政課長 過度な返礼品競争に乗るつもりはない。返礼品だけでなく、市に還元できる方法を研究中である。

なかじま委員 過度な返礼品競争に乗るつもりがないのに広告を出したのか。どこの地方にどう掲載したのか。

財政課長 12 月 16 日及び 19 日の 2 回、東海地方対象に中日新聞朝刊へ、関東地方対象に東京新聞朝刊に広告を掲載した。

青山委員 決算書 85 ページ 庁舎管理経費 - 光熱水費 1,547 万 8,639 円
光熱水費は前年比約 400 万円減と説明があった。電気料金は 3 月に日本ロジテック協同組合から契約業者を変更したが、経費削減に向け維持でき

るか。

課長補佐（管財担当）

会社の経営状況を判断することはできないが、中部電力より安い単価で契約している。また、PPS契約も検討している。本庁舎をLED照明に交換したことも、光熱水費減少の一因と考えられる。

林 委員

主要事業の成果 40 ページ（決算書 87 ページ） 固定資産台帳整備委託公会計に移行するため「固定資産台帳を整備するとともに、予算事業科目の最適化を行った」とあるが、科目体系表などはいつ出るか。

課長補佐（財政担当）

平成 28 年度の予算書から見直し後の体系になっている。予算体系表の提出とのことだが、平成 27 年、28 年度の予算書を見れば比較できる。

委員長

他になければ、財政課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 0 時 01 分休憩

午後 1 時 05 分再開

委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。

市民課

市民課長

市民課の決算について説明

林 委員

主要事業の成果 45 ページ 住民基本台帳窓口記録管理事業
閲覧件数 14 件とあるが、子どもの権利条約により勧誘はできないが、自衛隊の閲覧を拒否しない理由は何か。

市民課長

18 歳以上、15 歳以上で 2 項目の申請があった。中学生は陸上自衛隊高等工科大学の生徒募集の対象者としての申請だった。自衛隊法第 21 条第 1 項及び第 35 条の規定に基づく募集事務として、住民基本台帳法第 11 条第 1 項に規定する法律で定める事務の遂行に必要である場合として、住民基本台帳の一部の写の閲覧に応じた。

じんの委員

自衛隊を除く 13 件の閲覧内容と傾向はどのようなか。

市民係長

閲覧内容は氏名、住所、生年月日、性別の 4 項目、傾向としては公益性の高い世論調査の対象者抽出が申請内容だった。

じんの委員

不正閲覧に対する保護措置はどのようなか。

市民係長

申請時に長久手市住民基本台帳の一部の写しの閲覧に関する事務取扱要綱第 3 条第 2 項の 1 において閲覧者から誓約書を添付してもらおう。また、

同条2項の4の規定により一般財団法人日本情報経済社会推進協会が認定するプライバシーマークが付与されていることを証する書類又は会社（申請者）の個人情報の取り扱いに関する定めを記載した書類を提出してもらいチェックしている。閲覧は市民課事務室内としている。

林 委員 主要事業の成果 46 ページ 個人番号（マイナンバー）関連業務
個人番号カード申請数 3,747 件と個人番号カード交付数 1,912 件の差は何か。

市民係長 当初、マイナンバーカードの申請が集中し、順次交付をお知らせしているが、市役所で預かっているカードがあることが要因と思われる。申請数は、J-LIS（地方公共団体情報システム機構）の受付時点でカウントされる。カードを作成し交付するまでに時間を要するので、カード作成前、作成中のものも含まれ差が生じる。また、交付までの間に転出や死亡等で受け取れないこともある。休日窓口の開設や受取勧奨のはがきを送付し、交付に努力している。

じんの委員 通知カード返戻率と対応はどのようなか。

市民係長 通知カードは、9.6 パーセント、2,148 件が戻ってきた。返戻理由は、宛所なし 452 件、郵便局での保管期間経過 1,670 件、受取拒否 11 件、その他 15 件である。該当者には市役所で預かっている旨を付し、受取りを促すはがきを 2 回送付した。

じんの委員 制度の周知はできていたと思うか。現時点での申請件数と交付件数は何件か。

市民係長 広報、ホームページの周知のほか、市民課内の専用コールセンターで対応してきた。8月31日現在では、申請 4,026 件、交付 2,838 件となっている。

じんの委員 マイナンバー制度にかかる総費用と財源はどのようなだったか。

市民係長 市民課分では、1,890 万 2,571 円の歳出決算に対し、1,578 万 4,000 円の県費補助があった。

林 委員 決算書 115 ページ サービスコーナー諸経費 - 一般事務嘱託員報酬 364 万 200 円 サービスコーナー管理事務賃金 298 万 3,350 円

決算書 123 ページ 戸籍住民基本台帳費 - 一般事務嘱託員報酬 354 万円 住民基本台帳事務賃金 624 万 3,780 円

非正規職員の雇用が多いが、個人情報の取り扱いに関する研修をしているか。

市民課長 臨時的任用職員でも地方公務員法が提要され守秘義務がある。情報セキュリティや個人情報保護の研修を情報課の協力で年 1 回実施している。

委員長 他になければ、市民課の質疑及び意見は以上で終了する。

市民相談室

市民相談室長 市民相談室の決算について説明

- 上田委員 主要事業の成果 48 ページ 市民相談事業
相談件数は増加しているか。また、どのような相談が多いか。
- 市民相談室長 市民相談室設置後 2 年間では大きな増減はなく、継続相談もあり、新たな相談が常にあるわけではない。
- 市民相談係長 貧困問題や健康面での不安に関する相談が多い。
- 青山委員 主要事業の成果 49 ページ 消費生活相談事業
消費生活相談は市民相談室に移管されたが、よかったか。
- 市民相談室長 消費問題だけでなく、健康、家族、金銭等の相談もある。消費生活相談の枠外でも連携し、早期に解決できる仕組みに変えられたと思ってる。
- なかじま委員 消費生活相談 178 件には、個人の相談ではあるが皆へ広げてトラブル防止になるような案件はあったか。
- 市民相談係長 ワンクリック詐欺、訪問販売詐欺等は、啓発につなげられる事例である。
- 青山委員 相談者がロビーで待っている様子を見かけるが、相談業務、相談室として現在の場所に不都合はないか。
- 調整監 相談者が待つところがない、相談が重なった時に相談スペースが足りないことは課題である。今後の庁舎整備とあわせ考えたい。
- 委員長 他になければ、市民相談室の質疑及び意見は以上で終了する。

たつせがある課

たつせがある課長

たつせがある課の決算について説明

- 上田委員 決算書 101 ページ コミュニティ推進事業補助金 937 万 1,000 円
活動実績を見ると自由に使っているようだが、それを想定した補助金か。

たつせがある課長

補助金交付要綱で交付対象事業を規定し、地域の活性化及び課題解決のための事業、青少年健全育成に関する事業など、地域で活動するための補助金である。

- じんの委員 活動実績に対する評価や成果はどう図っているか。

課長補佐（地域協働担当）

事業ごとに事業検証報告書提出される。まず具体的な効果を考え、実施後に反省点をまとめ、次回に向けて改善していく仕組みをとっている。市は、その報告をもとに地域力の向上になったか確認している。

- じんの委員 コミュニティ推進事業補助金の成果は、市がはかる評価ではなく、地域が評価した結果で図るのか。

課長補佐（地域協働担当）

この補助金の事業検証とは地域で課題を見つけ解決することで、市は助言しながら見守っているところである。

- じんの委員 今のまま続けることは疑問である。

たつせがある課長

今は区、自治会連合会にコミュニティ推進補助金として交付しているが、行く行くは小学校区ごとのまちづくり協議会にシフトし、事業を見ながら交付金に移行したいと考えている。

なかじま委員 防犯カメラのランニングコストへの充当は地域差がある。設置されていない地区もあるが、今後はどうなるのか。

たつせがある課長

防犯カメラ設置費補助金（安心安全課所管）が平成 29 年度で終了する。防犯カメラは地域の要望で設置されるので、差があるまま推移していく。

青山委員 設置補助の防犯カメラしかランニングコストを補助しないのか。

たつせがある課長

設置補助金終了に設置したカメラについては、補助の方向を含め検討したい。

木村委員 ランニングコストの補助は継続するか。

たつせがある課長

台数にもよるが、今後検討したい。

じんの委員 決算書 219 ページ プレミアム付商品券発行補助金 2,243 万 1,604 円
商工会が事業主体となって実施したが、プレミアム付商品券の効果や検証はどのようか。効果のひとつである商工会員は増えたか。

課長補佐（交流推進・商工観光担当）

消費喚起効果は約 4,000 万円、消費誘発効果は約 1,680 円の約 5,700 万円の効果があった。

たつせがある課長

商工会の加入は 19 件増えた。

青山委員 主要事業の成果 64 ページ（決算書 103 ページ） 長久手市観光交流推進事業補助金

観光交流協会の事務所はリノモテラス公益施設に開設する計画だが、それまでは東庁舎 2 階の事務室で十分な活動ができるか。

たつせがある課長

事務室も必要だが、サテライト的な場所がほしいと考え検討している。

じんの委員 現在の観光交流協会の事務局体制と給与はいくらになるか。

たつせがある課長

事務局は局長はじめ 3 人とパート職員 1 人の体制である。給与は確認して報告する。 ※ 16 ページに報告の発言あり

じんの委員 イルミネーション事業参加者は、平成 26 年度に比べ昨年度の参加者はどうだったか。

たつせがある課長

平成 27 年度は点灯式、セカンドステージの参加者が 2,900 人だった。平成 26 年度参加者は確認して報告する。 ※ 16 ページに報告の発言あり

なかじま委員 主要事業の成果 56 ページ（決算書 101 ページ） 集会所修繕補助金
エアコンの修繕や設置工事の補助が何件かあるが、補助率はどのようか。

課長補佐（地域協働担当）

市が3分の2、地元が3分の1負担になる。

なかじま委員 主要事業の成果 63 ページ（決算書 115～117 ページ） 地域共生ステーションづくり市民ワークショップの実施

南と北の共生主ステーションの検討はどこまで進んだのか。

課長補佐（地域協働担当）

北のステーションは平成 31 年度の設置に向け、自主運営できる仕組みを作ろうと「おためし会」からスタートした。南のステーションは、当初の座談会から検討会にかわり 4 回開催した。

なかじま委員 北のステーションが自主運営できる仕組みを作ろうとしているということは、西小校区共生ステーションと運営法が違うのか。

課長補佐（地域協働担当）

共生ステーション地域で必要なもの、必要なことを決めていくことを当初から目的としている。その過程で西小校区共生ステーションの職員は、現在市が雇用しているが、北のステーションは最初から自分達でやろとしている。

なかじま委員 主要事業の成果 64 ページ（決算書 117 ページ） リリモテラス公益施設整備事業

なぜ事業の進捗が遅れているのか。

課長補佐（交流推進・商工観光担当）

市民の声をどう聞くかの検討、調整に時間を要し発注が遅れた。

なかじま委員 市民の声を聞くだけでなく、市の考えを示すことはしないのか。

課長補佐（交流推進・商工観光担当）

細かなことは市民に任せている。リリモテラスは総合計画等に位置付けがあり、大学連携や観光交流等方向性を示している。

青山委員 主要事業の成果 57 ページ（決算書 101～103 ページ） 男女共同参画事業

ワークショップ 7 回で延べ 33 人、講演会 33 人と参加者が少ない。そもそも少人数で設定した事業なのか、それとも PR されてないのか。

課長補佐（交流推進・商工観光担当）

男女共同参画情報紙等に掲載しているが、参加人数につながっていないので、啓発に努力していく。

じんの委員 主要事業の成果 61 ページ（決算書 107 ページ） 国際交流協会補助金 5 年程度の会員数の推移はどのようなか。会員数の増減は会費収入に影響するが、会費収入はいくらあったか。

たつせがある課長

会員は減少傾向にある。平成 27 年度の会員は 421 人で、個人、団体をあわせ 36 万 500 円の会費収入があった。

じんの委員 事業は縮小傾向のように思えるが、どう判断しているか。

たつせがある課長

事業は国際交流サロン、弁論大会、ホームステイ、にほんご教室等 30 前後で推移し、横ばい状態である。

山田委員 決算書 101 ページ 地域アドバイザー報償金 31 万 6,500 円
地域アドバイザーとは何か。

たつせがある課長

滋賀県で市民主体のまちづくりを推進する取組みを北川さんに依頼した。実践経験をもとに地域担当職員研修の講師、市が洞のまちづくり協議会準備会、地域共生ステーションのワークショップ等で助言してもらった。

なかじま委員 主要事業の成果 63 ページ (決算書 117 ページ) 地域共生ステーション
運営事業

西小校区地域共生ステーションは、市内外、市内地域の利用状況はどのようなか。

たつせがある課長

確認して報告する。 ※ 16 ページに報告の発言あり

委員長 他になければ、たつせがある課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 2 時 47 分休憩

午後 3 時 00 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

安心安全課

安心安全課長 安心安全課の決算について説明

じんの委員 主要事業の成果 69 ページ (決算書 109 ページ) N - バス運行事業
有料乗車を増やすことが課題と思うが、平成 28 年 4 月 1 日の再編に向けて検討したか。

課長補佐 有料乗車率は、平成 26 年度 19.97 パーセント、平成 27 年度 20.35 パーセントと約 20 パーセントで推移している。運賃収入を増やすには値上げ、乗車人数を増やすことが考えられるが、値上げについては検討課題であると認識している。

じんの委員 長久手市は、他市町に比べ手厚いサービスだと思う。今後も福祉に徹するののか。公共交通として利用者を増やすことをどう考えているのか。コミュニティバスの目的はどのも同じである。

くらし文化部長

現段階で無料乗車について撤廃や値上げは考えてない。今後は高齢化の上昇や税収等の問題もあり、将来的な課題ととらえている。

なかじま委員 主要事業の成果 68 ページ (決算書 109 ページ) 黄帽子・ランドセルカバー等の配布

市外から見ると 6 年生まで黄帽子をかぶっていることに違和感があるし、ランドセルカバーは全員が着けているわけでない。着けるための配布なら、丈夫なランドセルカバーを配布するな工夫してほしい。ランドセルカバーは本当に必要か。

安心安全課長 交通指導員に新入生が分かりやすいこと、また、1 年生が交通安全を学ぶ意味もあり配布している。

林 委員 主要事業の成果 70 ページ (決算書 111 ページ) 防犯街路灯整備事業
当初予算では 75 基の計画だったが、59 基との差は何か。

安心安全課長 区や自治会連合会からの設置要望を受け、民家への影響や電源確保等設置を勘案した結果 59 基となった。

加藤委員 主要事業の成果 69 ページ (決算書 111 ページ) セイフティステーション・防犯パトロール事業

防犯パトロールの青パトは、AED を搭載しているか。

課長補佐 搭載している。

青山委員 主要事業の成果 70 ページ (決算書 111 ページ) 防犯カメラ設置費補助事業

平成 29 年度で設置費補助終了の予定だが、それ以降に市民から要望があった場合はどうするのか。

安心安全課長 設置費補助終了は各地区に話をした。平成 29 年度までに計画的に要望するようにし、おおよその必要台数を把握している。防犯カメラは警察と協議しながら効果的などころに設置してきたので、市内いたる所に設置する考えはない。補助終了後に地区からどうしても必要という要望があれば相談したい。

じんの委員 主要事業の成果 73 ページ (決算書 153 ページ) 尾張市町交通災害共済加入促進事業

公共としての役割は薄れてきたと思う。小学生と 70 歳以上の高齢者の掛金を公費負担としているが、本人や保護者に公費負担の自覚はあるか。

安心安全課長 毎年 2 月に加入申込書を送付し、小学生は公費負担で加入することを表示している。70 歳以上の高齢者にも通知をしている。

じんの委員 加入率の推移はどのようか。

安心安全課長 平成 26 年度は 26.8 パーセント、平成 27 年度は 27.4 パーセントだった。

じんの委員 調べたところ平成 24 年度 28.1 パーセント、平成 20 年度 30.3 パーセントだった。子ども、高齢者共に人口が増え、市の負担は大きくなっている。近隣に本市のような公費負担をする自治体はなく、課題であると考えている。課題であるにもかかわらず継続とするなら、加入率を上げる努力はしたか。

課長補佐 自治会回覧、広報等で周知した。また今年10月から掛金が300円に下がるので広報でお知らせする。

山田委員 セイフティステーションは361日パトロールしているが、犯罪解決に直結した事案や目に見える効果はあったか。

課長補佐 犯罪の発見はないが、上郷地区で発生した火災は、防犯パトロールカーから連絡があり、連携できた。

議長 防犯パトロールから土木施設の破損や不備の報告はあるか。

課長補佐 防犯灯、道路標識、規制のペイント、ガードレールやカーブミラー等の道路施設の報告はある。

委員長 他になければ、安心安全課の質疑及び意見は以上で終了する。

委員長 たつせがある課長から、発言したい旨申出があったので発言を許可する。
たつせがある課長

確認結果を報告する。1点目、観光交流協会事務局人件費は、4人分で月額約70万円である。2点目、平成26年度のながくて冬まつりの参加者は、約2,800人だった。3点目、西小校区共生ステーションは、市内在住者の利用が96パーセントである。また、96パーセントの内74パーセントが、西小校区の方の利用である。

環境課

じんの委員 主要事業の成果75ページ ごみ・資源の回収状
資源ごみの抜き取りの状況と対策どのようなか。

環境課長 抜き取りの情報は環境課にも届いている。職員が始業前から2台の青色回転灯パトロールカーで市内巡回をしている。

じんの委員 主要事業の成果74ページ（決算書197ページ） 自然環境調査事業
5月に外来種勉強会をしているが、外来種対策はどのようなことをしたか。

環境課長 5月10日にオオキンケイギク対策について土木課と共同実施した。文化の家で学識者から害について説明を受けた後、香流川で抜根駆除した。抜根したオオキンケイギクは回収し、晴丘センターで焼却処分した。外来種対策は、ミシシippアカミミガメとオオキンケイギクを一年ごとに、交互にやっていきたい。

じんの委員 本市は万博開催地であるが、去年、今年と緑のカーテンが見られない。また、環境フェスの開催もないが、2つとも大事な事業ではないのか。

環境課長 2年前までは北庁舎の花壇でゴーヤのカーテンをしていたが、都市緑化フェアの時に花壇に花を植えることにした。地球温暖化防止対策の一つである緑のカーテンは環境にとって大切な事業なので、実施に向けて調整したい。また、平成27年度は環境フェスに変えて地域ネコについて考える「78円の命のプロジェクト」を実施した。今後は、平成33年度の湿地サミット

に向け、外部講師を招き、環境について勉強する機会を検討している。

青山委員 決算書 197 ページ エコマネー管理システム運営委託 14 万 2,560 円 エコマネーポイント発行負担金 4 万 4,700 円

万博の開催地として継続しているが、ほとんど活用されてないと思う。今後どうするのか、考えを聞きたい。

環境係長 愛知県は終息に向けて動きだしているとの情報もある。市も終了を視野に入れた検討をしている。

青山委員 決算書 205 ページ 清掃センター諸経費 784 万 351 円
エコハウスは土日は混雑している。これまにも他の地区にステーションを置き一部事業をとという提案があったが、検討しているか。

環境課長 第二のエコハウス設置については、場所の選定に向けて検討している。
委員長 他になければ、環境課の質疑及び意見は以上で終了する。

生涯学習課

生涯学習課長 生涯学習課の決算について説明

上田委員 決算書 315 ページ スポーツ開会出場奨励金 12 万 5,000 円
新規事業と説明があったが、金額の規定はどのようなか。

生涯学習課長 全国大会出場の場合、個人 5,000 円、団体は 5,000 円×人数、上限 5 万円。国際大会の場合は、個人 1 万円、団体は 1 万円×人数、上限 10 万円である。

林 委員 主要事業の成果 79 ページ (決算書 311 ページ) 色金山茶会
平成 27 年度は呈茶料を無料にして先着順だったためトラブルがあり、協議するとなっていたが、何を協議したのか。

生涯学習課長 昨年度は 330 人の来場があった。呈茶には一定の時間を要し、先着順としたことで来場者が朝に集中した。文化協会とはこれまでに 3、4 回協議し、呈茶を有料にする。

青山委員 主要事業の成果 80 ページ 学校体育施設貸出事業
改修工事等で実績が下がることは理解できるが、小中学校を比較して実績にバラツキがある理由は何か。

主幹 小学校は日曜、祝日の日中開放、中学校は水、金、土曜の夜間開放をしており、利用者の使い勝手による差異と思う。

青山委員 市内には利用できる体育館が足りないとも聞く。利用が増えるような PR はしないのか。

生涯学習課長 体育館の利用は 7 割程度で 3 割の利用が可能であり、周知を図り有効利用につなげたい。

なかじま委員 主要事業の成果 79 ページ 古戦場公園再整備事業
アンケート調査 3 回までの結果はどのようなか。また、結果から何が分かったか。

生涯学習課長 1 回目は生涯学習課の窓口、出先の施設にアンケート用紙を置き、約 300

人の回答があった。2回目は小和田哲男氏の講演会時（1月9日 長久手歴史講演会小牧・長久手の戦い - 秀吉・家康の戦略と戦術を追う - ）に来場者約300人から回答があった。3回目は春休みに子ども対象に市内のお気に入りのスポットの写真を添えて回答してもらった。施設の不備な点や再整備に対する要望等を聞いた。また、新しい甲冑を着る、火縄銃のレプリカを持つ、おこしものづくり等体験メニューについても聞いたので、今後の計画づくりに反映したい。

加藤委員 主要事業の成果 81 ページ（決算書 315 ページ） 愛知万博開催記念市町村対抗駅伝大会事業

市として選手をもっと応援してあげたい。のぼり旗やうちわを用意して応援してはどうか。

生涯学習課長 のぼり旗は開門を待って10本程度立っている。うちわなどをもち、集まって応援することは、予算の都合もあるが検討したい。

なかじま委員 決算書 313 ページ 市民野球場芝生等管理委託 154 万 5,748 円
面積、作業頻度はどのようなか。

主幹 刈り込み3回、草取り2回、除草2回、施肥1回の作業をする。

生涯学習課長 野球場としては8,352平方メートルある。

委員長 他になければ、生涯学習課の質疑及び意見は以上で終了。

この際、暫時休憩とする。

午後4時21分休憩

午後4時30分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

文化の家

文化の家事務局長

文化の家の決算について説明

なかじま委員 主要事業の成果 85 ページ 自主創造活動事業

アートフェスティバルのアンケートはどのようなものか。

文化の家事務局長

会場が市内広範囲なので案内に対して全体を回れない、路線バスを利用しても一日で回れない等の意見が多かった。

じんの委員 主要事業の成果 87 ページ 住民参画事業

3回のワーキンググループでは、「指定管理制度に関する勉強会を行った。」とあるが、参加者、目的はどのようなものだったか。

文化の家事務局長

8人の市民が3回参加した。指定管理施設の館長、指定管理から直営に戻った市の館長から指定管理管理制度について意見をいただき、勉強会をした。

じんの委員 主要事業の成果 87 ページ 住民参画事業

モニター制度は、平成26年度の12人から5人に減少したのはなぜか。

文化の家事務局長

モニター会議出席を求めたので、積極的な人が残ったと理解している。

なかじま委員 決算書 305 ページ 除草等委託 199 万 8,254 円

前年度決算額（282 万 5,444 円）より 100 万円近く少ないが、何が変わったのか。

文化の家事務局長

シルバー人材センターに委託しているが、作業の必要な時期、日数を見直し、89日削減した。

委員長 他になければ、文化の家の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後4時38分休憩

午後4時50分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

教育総務課

教育総務課長 教育総務課の決算について説明

林 委員 決算書 272 ページ～277 ページ 小学校費 - 教育振興費 5,567 万 2,070 円

決算書 287 ページ～289 ページ 中学校費 - 教育振興費 5,109 万 4,095 円

教育振興費は平成24年度からの推移を確認したところ、児童数は増加しているがあまり増えてない。保護者負担の増加は、教育振興費が増えてないこと関係あるか。

教育総務課長 保護者が負担する費用の範囲は変わってないので、教育振興費の増減が影響するとは考えてない。

なかじま委員 決算書 287 ページ 長久手中学校費-学校新聞補助金 25 万 4,000 円ほか
各小中学校費の学校新聞補助金

購読紙名、発行頻度はどのようなか。

教育総務課長 購読補助ではなく、各校の学校新聞作成補助である。

加藤委員 決算書 257 ページ 亜炭坑調査委託 165 万 2,400 円
東小学校校舎増築工事に関する調査か。

教育総務課長 長久手中学校、長久手小学校のバリアフリー工事設計の際に地質調査をしたところ、長久手小学校に亜炭坑があるとわかった。そのため詳細調査を委託した。

加藤委員 主要事業の成果 127 ページ（決算書 255 ページ） 適応指導教室事業
N-ハウスあいの入級者 12 人の構成はどのようなか。また、通学できるようになったのは何人か。

教育総務課長 確認して報告する。 ※ 21 ページに報告の発言あり

じんの委員 決算書 251 ページ 学校講師嘱託員報酬 3,691 万 943 円 学校非常勤講師賃金 4,639 万 8,618 円

小人数学級の指導員は何人雇用し、指導教科は何か。

教育総務課長 嘱託員 12 人、非常勤講師 36 人を雇用した。嘱託員 12 人の内 1 人は養護教諭である。

指導室長 中学では英語、数学、小学校では算数を指導する。

じんの委員 小人数学級での指導は、学校が決めるのか。

指導室長 学校やクラスにより人数が異なり、TT（ティームティーチング）、学級を分ける等、適した状況で実施している。

委員長 他になければ、教育総務課の質疑及び意見は以上で終了する。

給食センター

給食センター所長

給食センターの決算について説明

じんの委員 決算書 321 ページ 光熱水費 5,266 万 5,850 円 決算書 323 ページ 賄
材料費 3 億 31,770 万 7,871 円

食材費、光熱水費等は消費税率 8 パーセントになり、影響があったか。

給食センター所長

食材は天候により価格が乱高下するので、消費税 3 パーセント増の影響は非常にわかりにくい。

なかじま委員 主要事業の成果 131 ページ 放射能検査

食材の放射能検査はいつまで続けるのか。

給食センター所長

市場で放射能が検出されることは、ほとんど見られない。いつまで続けるかは難しいが、愛知県学校給食会の検査が無料なので委託している。転入者から年に 1、2 件の問い合わせがある。

委員長 他になければ、給食センターの質疑及び意見は以上で終了。

中央図書館

- 中央図書館長 中央図書館の決算について説明
- 青山委員 決算書 301 ページ W i - F i 設置工事 14 万 7,960 円
どのような工事をしたのか。予算書 31 ページ 図書館施設使用料の会議室使用料 4,146 円は、W i - F i 設置に関係するものか。
- 中央図書館長 2 階の会議室に W i - F i スポットを設け、インターネットの高速通信を可能とした。民間事業者（a u）が会議室に機器を置くので会議室使用料が歳入にある。
- 青山委員 W i - F i 設置工事は事業者が負担すべきものではないか。
- 主幹 今回は、フリー W i - F i の工事である。
- 青山委員 フリー W i - F i の範囲は会議室だけか。
- 主幹 2 階の会議室と 1 階の閲覧室で工事をした。
- なかじま委員 主要事業の成果 133 ページ 入館者の状況
前年比 5 パーセント増だが、休日と平日ではどのような差があるか。
- 主幹 休日は 1,500 人から 1,800 人程度、平日は 900 人前後の入館者がある。
- 山田委員 決算書 299 ページ 館内外監視巡回委託 31 万 8,128 円
誰が、どの程度の監視巡回を委託したのか。
- 中央図書館長 シルバー人材センターへ委託した。学校の長期休暇（夏・冬・春休み）及び 2 月の土日、祝日に 6 時間、館内、駐車場を巡回する。
- 委員長 他になければ、中央図書館の質疑及び意見は以上で終了する。
- 教育総務課長 加藤委員の N-ハウスあいの質疑について、確認できたので報告したい。
入級者 12 人の内訳は、小学 3 年生 1 人、4 年生 1 人、6 年生 2 人、中学 1 年生 4 人、2 年生 1 人、3 年生 3 人である。また、通学できるようになったのは 5 人である。

会計課

- 会計課長 会計課の決算について説明
- 林 委員 決算書 89 ページ 振込組戻手数料 12 万 7,872 円
件数と必要となった理由は何か。
- 会計課長 件数は 148 件。税の還付等の際に、口座情報が、解約済であったり、口座番号の誤記など口座情報誤っていることが多い。役所内の伝票作成上のミスは少ない。
- 委員長 他になければ、会計課の質疑及び意見は以上で終了する。

監査委員事務局

監査委員事務局長

監査委員事務局の決算について説明

林 委員 主要事業の成果 147 ページ 定期監査及び行政監査

「公用車の管理状態において不適切なものが見受けられたため、指摘したところ」とあるが、不適切とはどのようなことか。

監査委員事務局長

杵ヶ池体育館の公用車のことであるが、平成 27 年 12 月 1 日の長久手市公用車管理規定に基づく日常点検の際にしばらくするとハザードランプが点灯しないことが発見されたが、その後も使用継続していた。

委員長 他になれば、監査委員事務局の質疑及び意見は以上で終了する。

本日はこの程度にとどめ、9 月 12 日（月）午前 10 時から決算特別委員会を開く。これにて散会とする。

午後 5 時 58 分散会

9 月 12 日（月）

午前 10 時 00 分再会

委員長 9 月 9 日に引き続き、認定第 1 号の審査をする。

消防本部

総務課長 消防の決算について説明

上田委員 主要事業の成果 140 ページ 住宅用火災警報器設置促進事業

住宅用火災警報器は設置しても作動しなければ意味がない。作動確認や悪質な販売行為に対する注意喚起をしてほしいが、いかがか。

予防課長 住宅用火災警報器の設置は、前年度比で愛知県 0.5 パーセント減、国 1.4 パーセント増に対し、長久手市は 2.4 パーセント増だった。住宅用火災報知器の設置を条例化して 10 年が経過するので、電池の交換などを呼びかけ啓発に努めたい。また、販売行為に対する被害はあまり出てない。

上田委員 主要事業の成果 140 ページ 予防事業

空地の枯草除去指導は 52 件の文書通知とあるが、通知後の改善はどう確認しているか。

予防課長 年 3 回確認している。まず、10 から 11 月に確認し、その結果 52 件通知した。その後 2 回確認し、改善されたのは 33 件だった。

林 委員 主要事業の成果 139 ページ 消防施設等整備事務

人員、車両、資機材等の充足率はどのようなか。

総務課長 平成 28 年 4 月 1 日現在の充足率は、職員 58.26 パーセント、消防ポンプ自動車 75 パーセント、はしご自動車 100 パーセント、救急自動車 66.7 パーセント、救急工作機車 100 パーセント、水利は 65 ミリ消火栓 350 基、防火水槽を含め 90.75 パーセントである。

林 委員 主要事業の成果 138 ページ 入団促進事業
消防団員確保のため、公務員の積極的登用や自治会への働きかけをどのようにしたか。

総務課長 公務員の入団促進は、新規採用職員を中心に働きかけた。自治会へは、消防署・消防団合同訓練等自治会と合同で実施する行事のときに働きかけている。

山田委員 主要事業の成果 145 ページ 救急出動
急病、交通事故等種別ではどの出動件数が増加したか。救急車は適正利用され、搬送に至らないケースはあったか。

消防第一課長 前年度比 74 件増え、急病 25 件、けが 24 件等が増加した一方、交通事故は 33 件減った。また、年齢別では 65 歳以上の高齢者の搬送が 98 件増加した。現場到着後医師に症状を確認し、一般外来受診の指示がると患者にそれを説明する。本人が医師の指示どおりにする場合は搬送しないが、事案としては多々ある。

じんの委員 出動件数、その他の 207 件の事案は何か。熱中症搬送を含むのか。

消防署長 207 件には不搬送、転院搬送が含まれる。熱中症搬送は急病 1,130 件に含み、26 人搬送した。

青山委員 主要事業の成果 141 ページ 防火管理事務 - 立入検査
改善指導後の報告状況はどのようなか。

予防課長 改善指導の通知後、改善計画書を提出してもらおう。提出があったものに関しては、立入検査、消防設備点検報告等で確認している。

加藤委員 決算書 245 ページ AED 賃借料 98 万 8,848 円
コンビニエンスストアに設置した AED の利用実績はあったか。必要な時に使用できるようコンビニ従業員への指導はどのようなか。

消防第一課長 平成 27 年度の利用はなかった。AED の取扱や講習は、契約時に説明している。更新時に希望があれば実施する。

じんの委員 講習を受けないと、コンビニに AED があっても役に立たない。救急救命講習の受講者は増えているか。

消防第一課長 平成 26 年度 117 回、2,760 人から平成 27 年度 128 回、2,838 人と受講者は増えている。

委員長 他になければ、消防本部の質疑及び意見は以上で終了する。

政策秘書課

政策秘書長 政策秘書課の決算について説明

じんの委員 決算書 95 ページ アドバイザー報酬金 7 万 2,000 円
アドバイザーの 2 人はどのような人か。

政策秘書課長 民間の経営に精通した人、法律の分野の大学の先生にお願いしている。

加藤委員 主要事業の成果 31 ページ 新しいまっづくり行程表進行管理事務
平成 27 年 9 月末 完了 4 事業、継続中 62 事業、準備中 4 事業の計 70 事業。平成 28 年 3 月末 完了 5 事業、継続中 62 事業、準備中 3 事業の計 70 事業とある。ほとんどの事業が、継続のまま完了に至らないということか。

政策秘書課長 まっづくり行程表は 4 年間で取り組む事業で、継続的に取り組んでいく。
委員長 他になければ、政策秘書課の質疑及び意見は以上で終了する。

経営管理課

経営管理課長 経営管理課の決算について説明

じんの委員 決算書 95 ページ 愛知高速交通株式会社出資金 9 億 1,100 万円
第 2 次経営安定化策により出資しているが、財源はどこか。

経営企画課長 財政調整基金から 2 億円、土地開発基金から 7 億円の計 9 億円を一般会計に繰り出し、財源に充てた。残りの 1,100 万円は一般会計の中で捻出した。

じんの委員 平成 27 年度の利用者は 48 万人増加したが、通学、通勤、一般利用のどれが増加しているのか。また、市民の利用状況はどのようなか。

経営企画課長 愛知高速交通は、通勤定期、通学定期、定期外で利用状況を公表しているがどの指標も伸び、全体で 106 パーセント、6.7 ポイントの増である。8 月から 11 月の伸びが顕著で、モリコロパークで開催された全国都市緑化フェア開催によるものと会社は分析している。

課長補佐 市民の利用は平日 33 パーセント、休日 41 パーセントと聞いている。

じんの委員 愛知高速交通が利用者増のために努力したことは何か。

経営企画課長 経営改善計画に基づき、毎年検証する体制になっている。IC カード乗車券を導入のような安全で安定した輸送を提供する努力。増客、増収のために沿線の大学や高校に利用者の拡大を案内、小中学生の社会見学の積極的な受入れ、貸切列車や企画列車の販売促進に精力的にあたった。経費削減のために、固有社員中心の組織体制に変更し現在 84 パーセントとなった。また、軌道を含めた点検、検測の業務の完全直営化し、経費削減につながった。地域、沿線市町との連携では、リニモウォーキングはじめイベントを積極的に行い、全体として経営改善の努力をしている。

じんの委員 経営目標は毎年達成しているか。

経営企画課長 一日の乗客数の目標を平成 30 年度 2 万 3,800 人とし、現在 2 万 700 人である。今後、沿線でイオン、イケアのオープンを控え射程内と考えている。また、平成 26 年度から 30 年度の減価償却前営業損益の黒字累計額を 9 億 5,000 万円としているが、平成 27 年度決算での累計額は 3 億 5,300 万円となり、達成見込みがあると説明している。

じんの委員 リリモ支援のために長久手市が借り入れた分の毎年の返済はどのようになるか。

財政課課長補佐（財政担当）

償還は元金、利子合わせ、平成 28 年度約 1 億 1,200 万円、平成 29 年度約 1 億 1,100 万と少しずつ減り、最終の平成 46 年度は約 2,600 万円になる。

なかじま委員 主要事業の 32 成果ページ（決算書 93 ページ） 自治基本条例策定事業 団体アンケートの結果から何がわかったか。

経営企画課長 アンケートは団体向けに実施したもので、自治基本条例策定に向けてすべての考えが集約できたとは考えてない。今後の取り組みの中で、市民や団体の意向は把握していきたい。構成要素に対する団体の認識度合、重視の度合いを集約したので、骨子や条文づくりにいかしたい。

じんの委員 団体以外の意見や課題把握は、具体的にどう進めるのか。

経営企画課長 9 月 26 日に第 1 回検討委員会を開く。検討委員会は市民、市民団体、コミュニティに携わる人、公募市民、職員等 50 人で構成する。地域懇談会などいろいろな機会を通し、意向を把握できるよう準備したい。

委員長 他になければ、経営管理課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午前 11 時 12 分休憩

午前 11 時 20 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

人事課

人事課長 人事課の決算について説明

上田委員 主要事業の成果 33-2 ページ 職員の任免・職員数に関する事務事業採用者 29 人の内、社会人採用は何人だったか。

人事課長 土木技師 3 人、保健師 2 人を採用した。

林 委員 退職者 20 人の内、在職 3 年未満の職員はいたか。また、その理由は何か。

人事課長 4 人が採用 3 年未満だった。4 人の退職理由は把握していないが、自分のやりたいことがほかの所にある等いろいろな理由があるとは聞いている。

加藤委員 ながくて幸せ実感広め隊、なでラボ、地域担当職員などは、職務なのか、ボランティアなのか。

人事課長 地域担当職員は職務であるが、ながくて幸せ実感広め隊、なでラボはボランティアである。

加藤委員 ボランティアなら公募したのか。

経営企画課長 ながくて幸せ実感広め隊は経営企画課が担当し、公募のボランティアである。

林 委員 主要事業の成果 33-3 ページ（決算書 91 ページ） 職員健康診断
要精密検査、要治療の診断結果は何件あったか。

人事課長 確認して報告する。 ※ 27 ページに報告の発言あり

林 委員 決算書 89 ページ 退職手当組合負担金 2 億 4,695 万 7,015 円
負担率はどのようなか。

人事課長 役職により異なるが、給料月額に市長 0.36、副市長 0.22 教育長 0.18、
一般の職員 0.16 を乗じた額を負担する。

委員長 他になければ、人事課の質疑及び意見は以上で終了する。

情報課

情報課長 情報課の決算について説明

じんの委員 主要事業の成果 35 ページ（決算書 133 ページ） 平成 27 年国勢調査
調査方法の利便性が図られたというが、何が変わりどんな状況だったか。

課長補佐 インターネット回答が導入され、長久手市のインターネット回答はかな
り多かったと聞く。調査票の配布、回収が最も手間だったが、回収が少
なくなっただけでも負担が軽減された。

上田委員 主要事業の成果 35 ページ 市政ご意見箱
ご意見箱 104 件、電子メール 236 通とあるが、どのように対応している
か。

情報課長 寄せられた意見、提案は、仕分けをして担当課へ伝える。担当課は状況
や必要に応じて回答する。個人情報等取り扱いに配慮するものを除いては、
ホームページに回答を公開するよう努めている。

上田委員 すべてのご意見に回答しているか。

情報課長 回答の有無を選択してもらおうが、回答を求められるのは半分以下である。

じんの委員 主要事業の成果 35 ページ（決算書 99 ページ） ケーブルテレビ番組制
作
メープルスペシャルの制作をやめた理由は何か。

情報課長 伝えたいものをに伝えたいタイミングで毎週 1 本の番組を制作している。
週 1 本の番組で補えることもあり、そこに集約することでメープルスペシ
ャルの制作はしなかった。

じんの委員 主要事業の成果 34 ページ（決算書 97 ページ） 社会保障・税番号制度
対応業務
マイナンバー制度は情報漏えいが心配であるが、システム上の対策はど
のようなか。

課長補佐 セキュリティ強化対策工事を国庫補助を受け、平成 28 年 3 月に補正予算

を提出した。繰越明許として今年度実施予定である。住民基本台帳等はインターネットから遮断された環境となっている。

林 委員 主要事業の成果 35 ページ 広報・広聴 e - モニター
10 回のアンケートの内容はどのようなか。

情報課長 広報ながくてや Weekly ながくてで意見を聞いた。内容は、広報は興味のある記事やページ数等、Weekly ながくては番組構成、放送時間、番組更新のタイミング等である。

青山委員 主要事業の成果 34 ページ シティガイドマップ印刷
8,000 部印刷の根拠と改定予定はどのようなか。

情報課長 平成 26 年度は 5,000 部印刷した。毎年 7 月頃に一年分を印刷するが、掲載している N - バスのルート図が平成 28 年 4 月に改正されたので、28 年度に印刷するまでの分として 3,000 を追加印刷した。掲載情報は 7 月頃の印刷時に毎年更新している。。

委員長 他になければ、情報課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 0 時 06 分休憩

午後 1 時 05 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

委員長 収納課から配布のとおり追加報告資料の提出があった。 ※1
人事課長から、発言したい旨申出があったので発言を許可する。

人事課長 職員健康診断結果が要精密検査、要治療だった件数を報告する。健康診断 131 人、人間ドック 87 人、計 218 人が該当する。

福祉施策課

福祉施策課長 福祉施策課の決算について説明

林 委員 主要事業の成果 89 ページ (決算書 139 ページ) 臨時福祉給付金
対象者と申請者はそれぞれ何人だったか。

福祉施策課長 低所得の世帯をリストアップして 5,463 世帯に請求書を送付した。2,816 世帯の請求書を受け付け、扶養状況等を調査し最終的に 2,359 世帯に支給した。

じんの委員 もらわなかった人はどれくらいいるか。本人は非課税だが扶養者に市民税が課税されている場合は給付されるのか。

福祉施策課長 5,463 世帯に送付したので、約 2,600 世帯から提出がなかった。市民税課税者に扶養されている場合は対象外となるが、特に苦情は届いてない。

- じんの委員 主要事業の成果 88 ページ (決算書 137 ページ) 支え合いマップ策定事業
参加者の情報だけで作り、手元に地図はなく作るだけになってしまうが、
期待する効果は何か。
- 福祉施策課長 個人情報もあり、参加者が感じていてもしゃべれないこともある。マッ
プ作りが近所付き合いのきっかけになり、継続的に呼びかけ、集まりを維
持していきたい。
- じんの委員 情報は更新しなければいけないが、続くようには見えない。この事業の
終わりの見通しをどう考えているか。
- 福祉施策課長 正直、終わりはないと思っているが、職員が呼びかけなくても自然に集
まれるようになった時が一つの目安かもしれない。
- じんの委員 今年度からスタートした地域福祉ポイント事業、スマイルポイントは、
当初の福祉活動から対象を広げたことで目的が明確でなくなった。ボラン
ティア活動はポイントの付くもの、付かないものがあり判断がしにくくな
り、対象のボランティア活動に差ができたのではないか。
- 福祉施策課長 スマイルポイントの対象は、活動が確認できるか、できないかで判断す
ることになる。改善に向けてを検討している。
- 委員長 他になれば、福祉施策室の質疑及び意見は以上で終了する。

福祉課

- 福祉課長 福祉課の決算について説明
- 上田委員 主要事業の成果 92 ページ (決算書 189 ページ) 生活保護事業
生活保護世帯、人数、金額は前年度と比べどのようか。
- 福祉課長 世帯、人数は、ほぼ横ばいである。扶助費は 1,300 万円減となり、相談
員を雇用し就労につながり保護を脱却するケースがあると分析している。
- 林 委員 生活保護の相談、申請は何件あったか。
- 保護係長 相談は 51 人、申請は 23 件あった。
- 上田委員 主要事業の成果 92 ページ (決算書 189 ページ) 生活困窮者自立支援事
業 - 相談事業
自立相談支援事業の相談 117 件の年齢層はどのようか。
- 課長補佐 30 から 50 歳代の報告が多い一方、高齢者の相談もある。
- じんの委員 引きこもりの人からの相談はあったか。早期発見が難しいが、全庁的な
対応ができているか。
- 福祉課長 3 人相談があった。各相談窓口で気づいたときは、生活困窮担窓口や福
祉課につなぐよう庁内周知をしている。別の相談の中でも「経済的困窮」
という言葉が出れば、比較的早期に福祉課や相談窓口につないでいると考
えている。
- なかじま委員 決算書 53 ページ 民生寄附金 412 万円
412 万円の内訳はどのようか。
- 福祉課長 100 万円、300 万円、10 万円が各 1 件あり、福祉施設への助成、福祉関

係に使用することを目的にされたので、防災倉庫や福祉施設の助成に充てた。また、子育て支援に2万円が寄せられた。

加藤委員 決算書139ページ 民生委員児童委員費415万544円

民生委員の定数は何人で、今年度の改選では何人増員すればいいのか。

福祉課長 市の場合は280世帯に1人の基準があるが、8人増員して350世帯に1人の配置にする。前回の改選から少しずつ増員している。

加藤委員 民生委員は年配の人が多いが、現職56人の内何人が退任するのか。また、男女比はどの程度か。

福祉課長 28人を新しくお願いし、50歳代前半の人もいる。男女比は確認して報告する。

※2「男性32.2パーセント、女性67.8パーセント。改選後は、男性29.9パーセント、女性70.1パーセントの予定」と追加説明資料提出あり

委員長 他になければ、福祉課の質疑及び意見は以上で終了する。

長寿課

長寿課長 長寿課の決算について説明

林委員 主要事業の成果94ページ(決算書143ページ) 高齢者等訪問理美容サービス事業

利用に際し誓約書が必要な理由は何か。

長寿課長 確認して報告する。 ※31ページに報告の発言あり

林委員 主要事業の成果94ページ(決算書143ページ) 日常生活用用具給付事業

利用者1人となっているが、利用促進はしているか。

長寿課長 福祉のしおりを窓口や包括支援センターに置いている。民生委員にも配付し、該当者に制度のお知らせをするようにしている。

山田委員 主要事業の成果97ページ(決算書155ページ) 福祉の家再整備構想策定委託

再整備構想を策定したとあるが、現状はどのようなか。

長寿課長 平成27年度の委託業務で報告書が提出された。現在、報告書の内容について市の内部で今後の施設の位置付けや利用方針等を関係機関と調整中である。取りまとめができれば早めに配布したい。

山田委員 いつ頃配付できるか。

長寿課長 今月末にはできると思う。

じんの委員 主要事業の成果95ページ(決算書143ページ) ワンコインサービス事業

ワンコインサービスは500円、100円の2種あるが、どちらの利用が多いか。

いきいき長寿係長

利用状況は10分未満の100円が50パーセント、30分未満の500円が35

パーセント、500円追加した60分未満15パーセントとなっている。

長委員長 他になければ、長寿課の質疑及び意見は以上で終了する。

子育て支援課

子育て支援課長

子育て支援課の決算について説明

なかじま委員 主要事業の成果103ページ（決算書183ページ） 病児・病後児保育
病後児保育（アインながくて保育園併設「おひさまるーむ」）の利用状況
はどのようなか。申込書に在園名の欄があるが、どの地域の利用が多いか。

子育て支援課長

平成26年度11件、平成27年度31人の利用があった。保護者の通勤経
路や立地上、市域の西側の地区の利用が多いと聞く。

じんの委員 主要事業の成果99ページ（決算書163ページ） 放課後児童クラブ事業
各児童クラブの指導員体制はどのようなか。

子育て支援課長

例えば、長久手児童クラブは嘱託員、臨時的任用職員各2人の4人体制。
下山児童クラブは嘱託員1人、臨時的任用職員3人の4人体制。上郷児童
クラブは嘱員、臨時的任用職員各1人の2人体制と、児童クラブ勾当じた
配置をしている。

じんの委員 平成26年度と比較して、受け入れ児童数の変化はどのようなか。

子育て支援課長

平成26年度は1年生103人、2年生77人、3年生45人の225人を受け
入れた。平成27年度は1年生118人、2年生95人、3年生58人に加え、
学年が拡大され6年生まで受け入れ可能となったので、4年生22人、5年
生4人、6年生0人の297人を受け入れ、前年度比72人増となった。

じんの委員 学童保育所の定員と利用状況はどのようなか。また、県・市の補助どのよ
うか。

子育て支援課長

平成27年4月1日現在の定員と利用者は、長久手学童保育所が定員、利
用者ともに60人。長久手南学童保育所は定員60人に対し利用者61人。長
久手北学童保育所は定員50人に対し利用者55人。市が洞学童保育所（市
が洞小学校内）は定員61人に対し利用者39人だった。学童保育所への補
助金は国、県、市がそれぞれ3分の1を負担する。平成27年度の補助金額
は、長久手学童保育所446万1,000円、長久手南学童保育所625万3,000
円、長久手北学童保育所638万3,000円、市が洞学童保育所497万3,000円
となっている。

じんの委員 主要事業の成果100ページ（決算書165ページ） 子育て世帯臨時特例
給付金事業

児童手当と同様に1人あたりの給付か。また、周知は対象者全員に届く

ようにしたか。

子育て支援課長

基準日において平成27年6月分の児童手当の受給要件を満たしていれば、1人3,000円を給付した。児童手当と合わせ周知した。

じんの委員 申請がなかった人への対応はどうしたか。

9月と12月に未申請者を確認し、文書を送付して申請を促した。

じんの委員 子育て世帯臨時特例給付金事業は市の持出しはなかったか。

子育て支援課長

給付金は全額交付されるが、事務費は約220万円の持ち出しになった。

じんの委員 主要事業の成果102ページ 一時保育の実施

平成27年度は実施4園で何件の利用だったか。また、一時保育を利用した理由はどのようなだったか

課長補佐（保育、子ども未来、施設担当）

延べ1,830件の利用があった。利用状況は、仕事などの非定型が93パーセント、学校行事、ボランティア活動などの私的理由が6パーセント、出産、介護などの緊急保育が1パーセントとなっている。

林 委員 決算書183ページ 民間保育事業3億6,626万5,876円
費用面で検証したことはあるか。

子育て支援課長

給付費の請求として毎月報告を受け確認している。大きな変動は、指導保育士を通じ保育園に確認し、検証するようにしている。

加藤委員 主要事業の成果100ページ（決算書165ページ） 出産祝い事業

「本市在住の新生児を出産した621世帯中493世帯に対対して」とあるが、すべての世帯に出産祝い品を送ってないのはなぜか。

課長補佐（子ども家庭担当）

申請期間は出生の日から1年以内とし、まだ申込んでない人がいる。

委員長 他になければ、子育て支援課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後3時05分休憩

午後3時15分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

委員長 福祉課から配布のとおり補足説明資料の提出があった。※2
長寿課長から、発言したい旨申出があったので発言を許可する。

長寿課長 高齢者等訪問理美容サービスの利用の誓約書について報告する。
利用者は高齢で介護の必要な人、障害者手帳を持っている人が対象で、身体的に介助が必要なため、安全なサービス提供をするために誓約書を提出してもらおう。誓約書には1人以上の介護者または保護者が付くこと、事業者と実施日時等十分な事前打合せをすること記してもらおう。

保険医療課

保険医療課長 保険医療課の決算について説明
林 委員 主要事業の成果 106 ページ（決算書 147 ページ）精神障害者医療費事業一般の病気の医療費も対象か。
医療係長 精神障害者保健福祉手帳 1、2 級が対象となるが、精神障害者の医療は 2 種類あり、手帳が交付されている症は全疾病となる。それ以外は精神通院のみの助成となる。
なかじま委員 主要事業の成果 106 ページ（決算書 147 ページ）子ども医療費事業受診傾向は把握しているか。
医療係長 診療科は内科、皮膚科、外科の順に多く、呼吸器系疾患、外傷が多い。
じんの委員 国は子ども医療費無料化の自治体に国保へのペナルティーとして補助金を減額しているが、長久手市の減額はいくらか。また、減額しないよう要望をしたか。
保険医療課長 国庫約 797 万、県費約 174 万円が減額された。全国市長会をとおして要望している。
委員長 他になければ、保険医療課の質疑及び意見は以上で終了する。

健康推進課

健康推進課長 健康推進課の決算について説明
じんの委員 主要事業の成果 108 ページ（決算書 193 ページ）健康診査胃検診の受診率は 46.6 パーセントと他の検診受診率に比べ低いのはなぜか。
健康推進課長 受診者の声ではバリウムに抵抗感があり胃検診の受診率は低い、胸部検診、大腸検診は 7 割近くあり、がん検診に対する関心はあると思っている。厚生労働省が 2 月に出した指針では、胃カメラの受診体制を整えるようにあったので医療機関と調整中であるが、体制を整えば選択肢が増え受診率が上がっていくことを期待している。
じんの委員 子宮頸がんワクチン接種は、副作用の報告があったか。あれば対応はどのようなか。
課長補佐（母子保健担当）
2 件の副反応報告があり、保護者からの相談段階で県を通じ国へ報告した。

加藤委員 主要事業の成果 109 ページ(決算書 193 ページ) 定期予防接種事業 任意高齢者肺炎球菌接種費助成事業

高齢者肺炎球菌接種は5歳刻みで案内しているか。

課長補佐(母子保健担当)

定期接種は65歳から100歳の人に5歳刻みで案内している。任意接種や定期接種の案内がない人は、2,500円の自己負担で接種できるよう援助している。

委員長 他になければ、健康推進課の質疑及び意見は以上で終了する。

土木課

土木課長 土木課の決算について説明

なかじま委員 決算書 53 ページ 長湫西部線舗装修繕工事寄附金 5,000 万円
寄附採納者と指定寄附金か。

土木課長 長湫南部土地区画整理組合から長湫西部線の舗装修繕のための指定寄附である。

林 委員 主要事業の成果 113 ページ(決算書 227 ページ) 交通安全施設設置工事

自治会未加入者からの要望はどう扱うのか。

土木課長 区長、自治会連合会長に連絡し、自治会連合会、区で優先順位をつけ、再度提出してもらっている。

林 委員 要望結果はどのようになったか。

土木課長 62本の設置要望に対し、各地区の優先順位、市全体の設置状況、予算を考慮して13本設置した。

委員長 他になければ、土木課の質疑及び意見は以上で終了する。

都市計画課

都市計画課長 都市計画課の決算について説明

じんの委員 主要事業の成果 115 ページ 木造住宅耐震事業
木造住宅耐震シェルター整備補助金の活用はあるか。

都市計画課長 平成27年度の申請は0件だった。

じんの委員 非木造住宅の耐震化率はいくつか。

都市計画課長 95パーセントの耐震化率である。

加藤委員 主要事業の成果 115 ページ 建築指導に関する事業

建築確認申請等 293 件の内、市に提出されたのは7件である。民間の審査機関に提出された場合は、狭隘道路のセットバックの指導等はどう対応しているのか。また、税務課の課税事務では増築家屋0件だったが、増築は本当になかったのか。

都市計画課長 セットバック等をふまえた設計図で確認申請をしていると理解している。

また、確認申請が必要な件数が 293 件だったと判断している。

委員長 他になければ、都市計画課の質疑及び意見は以上で終了する。

みどりの推進課

みどりの推進課長

みどりの推進課の決算について説明

なかじま委員 主要事業の成果 121 ページ（決算書 233 ページ） みどりのシンポジウム事業

事業費 129 万 6,000 円は講師料か。

みどりの推進課長

講師派遣、設営、運営等包括的に委託した。

なかじま委員 決算書 53 ページ 土木寄附 6 億 4,439 万 7,131 円

4 件の寄附の内、公園整備寄附金 5,046 万 2,240 円、緑地整備寄附金 2,000 万円、緑化寄附金 5 億 2,393 万 4,891 円は、どこからの寄附で、事業指定寄附なのか。

みどりの推進課長

公園整備寄附金は、長久手中央 2 号公園の交付金以外の整備のために長久手中央土地区画整理組合からの寄附である。緑地整備寄附金は、公園に防災機能を整備するよう長湫中部土地区画整理組合からの寄附である。緑化寄附金は長湫南部土地区画整理組合から緑化目的の指定寄附だった。

青山委員 主要事業の成果 117 ページ（決算書 211 ページ） 生産調整推進補助金の交付

91 人に交付とあるが、対象面積はどれだけか。また、財源はどのようか。

主幹 面積は確認して報告する。

※3（「JA管理委託 5,910 平方メートル、景観作物、飼料作物 2 万 3,556 平方メートル、新規需要米 4 万 2,696 平方メートル、花き・果樹（一般作物）3 万 7,111 平方メートル」と追加説明資料提出あり）

財源は市とあいち尾東農協が 2 分の 1 ずつ負担する。

じんの委員 主要事業の成果 123 ページ（決算書 233 ページ） 公園愛護会報償金交付事業

運営団体となる愛護会は子供会のほか NPO 法人や社会福祉法人もあるが、公募しているのか。

みどりの推進課長

公募ではないが、年 1 回愛護会の説明会を開いている。この時に愛護会のない公園をお知らせしている。

じんの委員 報償金交付要綱では除草、清掃等が愛護会活動とされ、交付は上限 5 万円としている。交付にはチェックや評価が必要と思うが、どのようにしているか。

みどりの推進課長

除草した草を入れたごみ袋を指定管理業者が回収するので、どれだけしたか確認することができる。また、トイレ掃除はチェックシートがあるので、市の職員、指定管理者が確認できる。愛護会からは計画書の提出があるので、計画にに基づいた活動か確認している。

林 委員 決算書 215 ページ まちなか農園整備工事費 58 万 6,200 円
粘土質で草も生えないと聞くが、土壌改良の検討はしたか。

主幹 耕作に適さない土質ではあるが、市民と一からやっていくことを目標にしている。そのような所でも育つ作物の栽培と土づくりを並行してやっている。

じんの委員 主要事業の成果 122 ページ 農用地の変動
市街化調整区域で開発が進んでいるが、農地の減少はどの程度になるか。
主幹 宅地化により市全体で 2.6 ヘクタール減少した。
委員長 他になければ、みどりの推進課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 4 時 56 分休憩

午後 5 時 05 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

区画整理課

区画整理課長 区画整理課の決算について説明

林 委員 名古屋市との境界協議は進んでいるか。長久手市と名古屋市双方の説明が違うと聞くが、それはなぜか。

課長補佐 道路の接続の件と推察する。名古屋市幅員 8 メートルで整備済に対し、長久手市は幅員 6 メートルで設計している。2 メートルの幅員差に加え、連続性のある接続にならないので、実際には 4 メートルの接続となる。連続性のある線形にすることは共通認識であるが用地買収が必要になり、名古屋市と協議している。

委員長 他になければ、区画整理課の質疑及び意見は以上で終了。

議会事務局

議会事務局長 議会事務局の決算について説明

委員長 なければ、議会事務局の質疑及び意見は以上で終了。

この際、暫時休憩とする。

午後 5 時 21 分休憩

午後 5 時 25 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

みどりの推進課から配布のとおり補足説明資料の提出があった。※3

それでは討論採決を行う。

反対討論 なし

賛成討論 なし

委員長 認定第 1 号平成 27 年度長久手市一般会計決算認定について原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求める。
挙手多数。よって認定第 1 号は原案のとおり認定することに決した。

委員長 報告書については、正副委員長への一任を確認。
(異議なし)

午後 5 時 26 分閉会

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

平成 28 年 9 月 12 日

決算特別委員会委員長 木村さゆり